



平成30年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年6月13日

上場会社名 株式会社きんえい 上場取引所 東
 コード番号 9636 URL http://www.kin-ei.co.jp
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)田中 耕造
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)好井 裕一 (TEL)06(6632)4553
 四半期報告書提出予定日 平成29年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年1月期第1四半期の業績(平成29年2月1日～平成29年4月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年1月期第1四半期	915	11.6	75	55.7	74	56.2	49	47.8
29年1月期第1四半期	820	3.1	48	20.5	47	16.8	33	53.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年1月期第1四半期	17.61	—
29年1月期第1四半期	11.92	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年1月期第1四半期	4,982	1,854	37.2
29年1月期	4,861	1,834	37.7

(参考) 自己資本 30年1月期第1四半期 1,854百万円 29年1月期 1,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年1月期	—				
30年1月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年1月期の業績予想(平成29年2月1日～平成30年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,730	1.7	90	△17.8	90	△17.5	50	△31.6	17.92
通期	3,560	0.5	190	3.0	190	1.9	110	6.5	39.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年1月期1Q	2,821,000株	29年1月期	2,821,000株
② 期末自己株式数	30年1月期1Q	31,870株	29年1月期	31,590株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年1月期1Q	2,789,320株	29年1月期1Q	2,789,736株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、米国や欧州の政治動向等の不透明さがあるものの、個人消費が底堅く伸びを示すなど、景気が緩やかに持ち直す状況で推移しました。

この間当社におきましては、事業全般に亘る顧客満足度のより高いサービスの提供と部門別業績管理の徹底をさらに推進し、集客と収入の確保に努めました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。

シネマ・アミューズメント事業におきましては、3月に42席からなる新スクリーン「スクリーン・プラスワン」をオープンし、合計9スクリーンになった劇場において“モアナと伝説の海”“S I N G”“名探偵コナン”“ラ・ラ・ランド”“ドラえもん”“美女と野獣”などの話題作を上映する一方、会員数が30万人を突破した「アポロシネマメンバーズ」の会員獲得による販売促進活動を積極的に推し進めた結果、収入合計は467,729千円（前年同期比26.2%増）となり、営業原価控除後のセグメント利益におきましても40,100千円（前年同期比470.0%増）となりました。

不動産事業におきましては、アポロビル・ルシアスビルともに積極的なテナント誘致活動を進めましたが、このセグメント全体の収入合計はほぼ前年並みの447,771千円（前年同期比0.4%減）となり、セグメント利益につきましては、107,161千円（前年同期比1.5%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高合計は915,500千円（前年同期比11.6%増）となり、費用面におきましても、部門別業績管理の徹底により、諸経費全般に亘って鋭意削減に努めました結果、営業利益は75,065千円（前年同期比55.7%増）となり、経常利益は74,920千円（前年同期比56.2%増）、四半期純利益は49,132千円（前年同期比47.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、短期貸付金の増加等により前期末に比較して121,394千円増加し、4,982,857千円となりました。負債は、預り金や買掛金の増加等により、前期末に比較して101,261千円増加し、3,128,393千円となりました。また、純資産は、四半期純利益など利益剰余金の増加額が配当金の支払い等による減少額を上回ったため、前期末に比較して20,132千円増加し、1,854,464千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年1月期の業績予想につきましては、平成29年3月14日に「平成29年1月期決算短信（非連結）」にて公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年1月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	67,999	142,973
売掛金	100,540	128,630
商品	4,872	4,363
その他	494,598	549,495
流動資産合計	668,010	825,463
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,074,005	2,034,728
機械及び装置(純額)	40,901	46,140
工具、器具及び備品(純額)	73,759	73,435
土地	1,123,748	1,123,748
有形固定資産合計	3,312,414	3,278,053
無形固定資産	17,211	14,485
投資その他の資産		
差入保証金	822,714	822,343
その他	41,112	42,510
投資その他の資産合計	863,827	864,854
固定資産合計	4,193,452	4,157,393
資産合計	4,861,463	4,982,857
負債の部		
流動負債		
買掛金	118,550	184,913
短期借入金	257,500	280,000
未払法人税等	41,644	33,100
賞与引当金	12,000	26,200
その他	627,341	629,353
流動負債合計	1,057,036	1,153,567
固定負債		
退職給付引当金	85,399	87,268
受入保証金	1,560,957	1,567,588
資産除去債務	286,912	288,006
その他	36,827	31,963
固定負債合計	1,970,095	1,974,826
負債合計	3,027,131	3,128,393

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年1月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,200	564,200
資本剰余金	24,155	24,155
利益剰余金	1,350,834	1,372,072
自己株式	△108,166	△109,042
株主資本合計	1,831,023	1,851,386
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,308	3,078
評価・換算差額等合計	3,308	3,078
純資産合計	1,834,331	1,854,464
負債純資産合計	4,861,463	4,982,857

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年4月30日)
売上高	820,476	915,500
営業原価	704,671	768,238
営業総利益	115,805	147,262
一般管理費	67,604	72,196
営業利益	48,200	75,065
営業外収益		
受取利息	284	226
保険差益	81	96
雑収入	70	26
営業外収益合計	436	349
営業外費用		
支払利息	677	490
雑支出	3	3
営業外費用合計	680	493
経常利益	47,956	74,920
特別損失		
固定資産除却損	566	3,907
特別損失合計	566	3,907
税引前四半期純利益	47,389	71,012
法人税、住民税及び事業税	24,795	29,648
法人税等調整額	△10,654	△7,768
法人税等合計	14,140	21,879
四半期純利益	33,249	49,132

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(平成28年2月1日から平成28年4月30日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	370,764	449,711	820,476	—	820,476
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	370,764	449,711	820,476	—	820,476
セグメント利益	7,035	108,769	115,805	△67,604	48,200

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(平成29年2月1日から平成29年4月30日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	467,729	447,771	915,500	—	915,500
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	467,729	447,771	915,500	—	915,500
セグメント利益	40,100	107,161	147,262	△72,196	75,065

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

当社は、平成29年6月13日開催の取締役会において、当社の保有する「きんえいアポロビル(大阪市阿倍野区)」の耐震補強工事の施行について決議いたしました。詳細につきましては、本日(平成29年6月13日)公表の「固定資産の取得(きんえいアポロビル耐震補強工事)に関するお知らせ」をご参照ください。